

令和5年度 総合型選抜探究力入試「Q」 文学部 出題意図等

1) 志望理由書について

- ・これまでの経験を列挙するだけでは、何をどう探究したいのかは伝わらない。自分が考えていること（学問的好奇心）を、どのように表現すれば人に伝わるかをしっかり考えて書こう。
- ・これまで何をしてきたのかだけでなく、これから学問的にどのように探究していきたいかという見通しまで書くこと。
- ・高校での「総合的な学習の時間」における学びについて書く場合には、その授業を通して、いかに自分が主体的に探究を行ったのかを記してほしい。
- ・行なったこと（やりたいこと）をすべて書くよりも、焦点をしぼって記述するよう心がけてほしい。そして、自分が選択したテーマの中で、自分は特に何について深く探究したいのかをよく考え、明確にした上で記述してほしい。また、志望理由書の文章に、自分なりのタイトルをつけることも考えてみてほしい。

2) 課題レポート・小論文について

- ・指定図書を、自分で考えながら、しっかり読みこんでおこう。
- ・複数の図書が指定されている場合は、すべて読んでおくこと。
- ・レポートを書く時には、自分が行なったことや考えたことを十分にアピールしよう。
- ・教科書にでているような「正解」を並べるよりも、実際に自分で考え、調べたことを書いてみよう。例えば、自分の身近にある具体的な問題について論じてみるでもいいし、地形図をみて浮かんだ素朴な疑問について調べてみるでもいい。
- ・結論だけを述べるのではなく、そう考えるに至った根拠を示してみよう。
- ・どのように調べればいいのか分からない時は、高校の先生やそのことに詳しい人に聞いてみるといい。人との対話を通して学ぶ良い機会になるだろう。

3) その他

- ・あくまで自分が何を探究したいのかを中心に考えてほしい。奈良女子大学文学部の広報資料に記載されている学科の内容や教員の研究テーマなどに合わせて探究の範囲を限定する必要はない。